

## 企業会計・特別会計

### ガス事業

|       |            |
|-------|------------|
| 事業収益  | 10億5,828万円 |
| 事業費用  | 10億2,226万円 |
| 資本的収入 | 589万円      |
| 資本的支出 | 2億7,980万円  |

他のエネルギーとの競合や原油価格の動向、為替相場の変動など都市ガス事業を取り巻く環境は、極めて厳しいものがあります。これらに対応しながら、都市ガスの安定供給と安全性の確保に努めます。

また、新規需要の確保と地域文化の向上のため、カルチャーセンター前にガス灯を設置します。さらに維持管理面を強化し、計画的な老朽管の更新と各家庭のガス機器の保守点検、供給施設の安全管理に努めます。

### 水道事業

|       |           |
|-------|-----------|
| 事業収益  | 8億7,472万円 |
| 事業費用  | 8億4,720万円 |
| 資本的収入 | 8,118万円   |
| 資本的支出 | 3億2,647万円 |

近年、人口の増加や産業活動の進展に伴い、水需要が急激に増加しています。近い将来、現有施設の給水能力が限界に達することが予測されるため、施設の拡張計画を平成5年度から4カ年計画で進めます。今年度はそのための実施計画を作成します。

水は市民の日常生活に欠かせないものです。常に安心して飲める水道水の安定供給に努め、水質管理体制の強化を図ります。また、円滑な給水を行うため管路網の整備を促進します。

### 国民健康保険

予算総額 20億5,300万円

昨年、一昨年と2年連続して国民健康保険税率の10%引き下げを行い、今年度もその税率を維持しながら予算を編成しました。

歳出面では1人当たりの医療費見込み額を前年度比10%増で積算。新規事業として人間ドック補助事業を創設し、40歳以上の被保険者1人当たりに21,000円を助成します。また助産費を現行130,000円から240,000万円に、葬祭費を現行40,000円から50,000円に引き上げます。

### 老人保健

予算総額 25億6,417万円

継続して健康づくり運動を推進し、老人保健制度の長期安定を図るため、医療費適正化対策事業を積極的に進めます。



県展(加茂展)

平成元年度に作成した、国土利用基本計画法に基づく「白根市計画」を基本としながら、総合的で適正な都市計画の実現を目指します。

- スーパーモデル実施計画作成
- 農村総合整備モデル事業・地域振興特別推進型(通称スーパーモデル)は、今年度具体的な事業計画を盛り込んだ実施計画を作成します。集落道や排水施設などの農村環境整備や、農業生産基盤整備を盛り込みます。これらの施設整備は農村景観に配慮した、地域活性化につながるものとなります。事業実施は平成5年度以降となります。
- 農振地域整備計画を見直し
- 「白根農業振興地域整備計画」の全面的な見直しを行います。

同計画は昭和四十七年度に当初計画が作られ、昭和五十七年度に見直しを行ったもの。開発の進展など、農村を取り巻く情勢が大きく変化してきていることから、優良農地を確保するため見直しを行います。同計画には、土地利用の在り方や施設整備、農村の生活環境整備、農業経営改善などが盛り込まれることになっていきます。

- 社会福祉計画を作成
- 本格的な高齢化社会を迎え、人生八十年時代にふさわしい社会福祉のシステムづくりが大きな課題になっています。市では豊かな福祉社会実現のため「白根市社会福祉計画」作成の準備に入ります。既に国では「高齢者保健福祉推進十カ年戦略」を、

県では「新潟県福祉計画」を作成し、将来を展望した新たな福祉制度の実現を目指しています。これらの計画との整合性を図りながら、本市の実情に即した福祉の実現を目指します。

- 県展白根展・県ジュニア展を開催
- 市民が質の高い文化に接する機会として、県美術展覧会(県展)白根展と県ジュニア美術展覧会を併せて開催します。どちらも県内随一の規模を誇る美術展として、県内外から注目を集めているもの。開催期間は七月十七日から二十三日までの一週間で、会場はカルチャーセンターです。

## 主要施策

### ふるさとづくり 教育・文化の振興 各種計画の作成

市民の皆さんからアイデアを募集し、ふるさと創生事業として検討を進めてきた(仮称)白根ふるさと村建設事業。平成六年六月オープンを目指してよいよ着工されます。今年度は建設費などに約六億円を計上。平成六年度までの三カ年継続事業となります。

(仮称)白根ふるさと村は白根総合公園内に建設されるもので、既に基本計画を作成。計画では施設のテーマを「風の魅力を通じて白根市のアピールを市の内外に行き届ける施設とすること」としました。さらに、大風合戦をメインにした「観光的な性格」と、「民俗資料の展示」、市民の利用を前提とした「公共的な性格」を合わせ持った施設とし、本市の観光の核となるとともに、市民参加ができるコミュニティ施設ともなります。

昨年九月には、市民代表の委員で構成される建設計画検討委員会から、基本計画に対する答申を受けました。市ではそれらを参考にしながら実施設計を作成することとしています。さらにソフト面の充実を図るために、風資料の収集や、民俗資料の整理などを、建設事業と平行して進めます。

### 主な事業と予算額 (単位:万円)

|                  |        |
|------------------|--------|
| ○(仮称)白根ふるさと村建設事業 | 60,083 |
| ○白根北中学校体育館・プール建設 | 53,379 |
| ○白根都市計画基本構想の作成委託 | 900    |
| ○スーパーモデル実施計画作成   | 5,493  |
| ○農業振興地域整備計画の見直し  | 249    |
| ○福祉計画の作成         | 44     |
| ○県展白根展・県ジュニア展開催  | 237    |

#### (仮称)白根ふるさと村 建設に着手

#### 白根北中学校 体育施設を整備

四月に開校する白根北中学校。四十人学級導入に伴う白根第一中学校の学級増や、遠距離通学、大鷲中学校の老朽化などの、教育環境を改善するために建設しました。前年度に校舎棟、管理棟を建設。今年度は体育館、プールなどの体育施設整備のために五億三千三百万円を計上しました。また通学路の整備を進めるとともに、街灯を設置し、通学する生徒の安全確保に万全を期します。

白井小学校と戸石小学校の統合整備計画については、建設場所の決定に合わせた具体的な計画がまとまりたい、用地取得

#### 21世紀を目指し 各種計画を作成

市では今年度を二十一世紀に向けた節目の年と位置付け、各分野にわたった計画の作成、見直し作業を行います。

- 都市計画基本構想を作成
- 本市の将来像を設定する「白根都市計画基本構想」を作成します。この計画は本市のまちづくりの基本となるもので、将来の都市構成、土地利用、都市施設配置などを構想するもの。平成二十二年度を目標年次とし、

